

スクエア free セミナー

# OSSビジネスの概要と国内開発の試み

海外のオープンソースと日本向け需要とのギャップとその対応



2014年7月24日

株式会社イージフ

# 自己紹介（会社）

名前：株式会社 イージフ

オープンソースの企業向けソフトウェアの導入支援を行うコンサルティングファーム

## 商用オープンソース製品を主軸とする ITコンサルティングサービスを展開

Liferay及びAlfrescoの国内初のパートナーとして、広く導入支援コンサルティングサービスを提供



## 2006年に20代の会計士と コンサルタントが起業

実績、人脈、ファーム独自の метод論、財務基盤およびブランド、などによるプレミアムを省いた現場レベルのコンサルティングサービスに注力

## 業務改善コンサルティングと ITを組み合わせた情報活用

伝統的なECM製品やERPの導入コンサルティングや、BRPなど多様な領域をバックグラウンドに持つチーム構成

# 自己紹介（個人）

名前：石井 昭紀

町工場の生まれ事務用コンピュータやCADで遊んで育つ

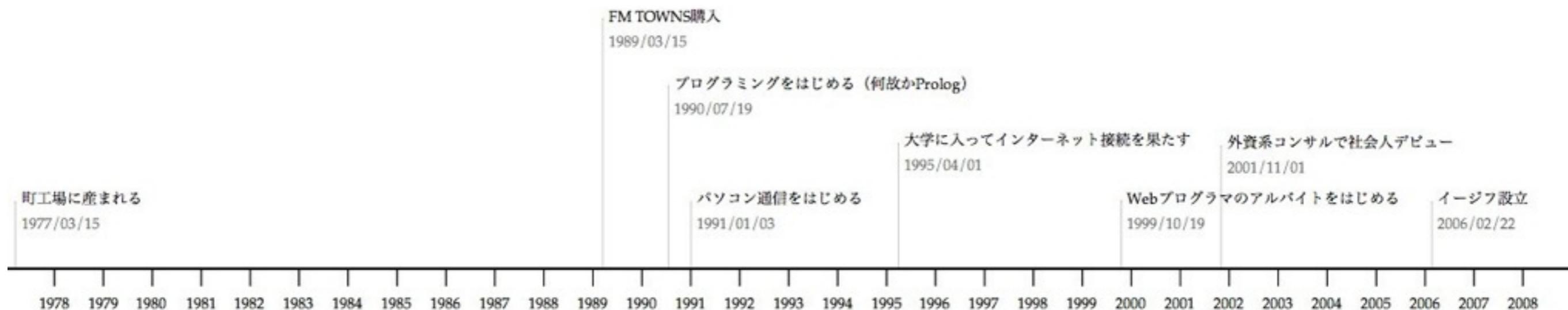
（一応）中学生時代からプログラミング経験あり

大学時代は所謂ネットベンチャーで開発を担当

総合系（会計系）コンサルティングファームで社会人デビュー

ERPコンサルタントとして教育を受けるがドロップアウト

紆余曲折を経て最初の会社の同期と起業



# Agenda

- ✓ オープンソースビジネスの苦しいところ
- ✓ では、何故この道を選んだのか？
- ✓ 新しい挑戦 製品ベンダとして



A black and white photograph of a person walking a tightrope. The person is silhouetted against a bright, cloudy sky. They are balancing on a thin wire stretched between two vertical poles. The person's arms are outstretched for balance. The background shows a dense line of trees at the bottom of the frame.

# オープンソースビジネスの苦しいところ

# 弊社のOSSビジネスの特徴

- 製造元のサブスクリプションサービスの活用
- (OS/ミドルウェアではなく) アプリケーションレイヤへの注力
- 管理会計、業務プロセス改善、IT投資評価、などのサービスとの連動

パッケージ  
+  
アプリケーション  
+  
コンサルティング

×

オープンソース  
ソフトウェア

# パッケージって？

他で実績があるソフトウェアを導入し、他の顧客と共同でコスト負担して保守できれば、より安くより安全にシステム導入が可能

⇒経済的な「分業」の一形態

目標／成功要因

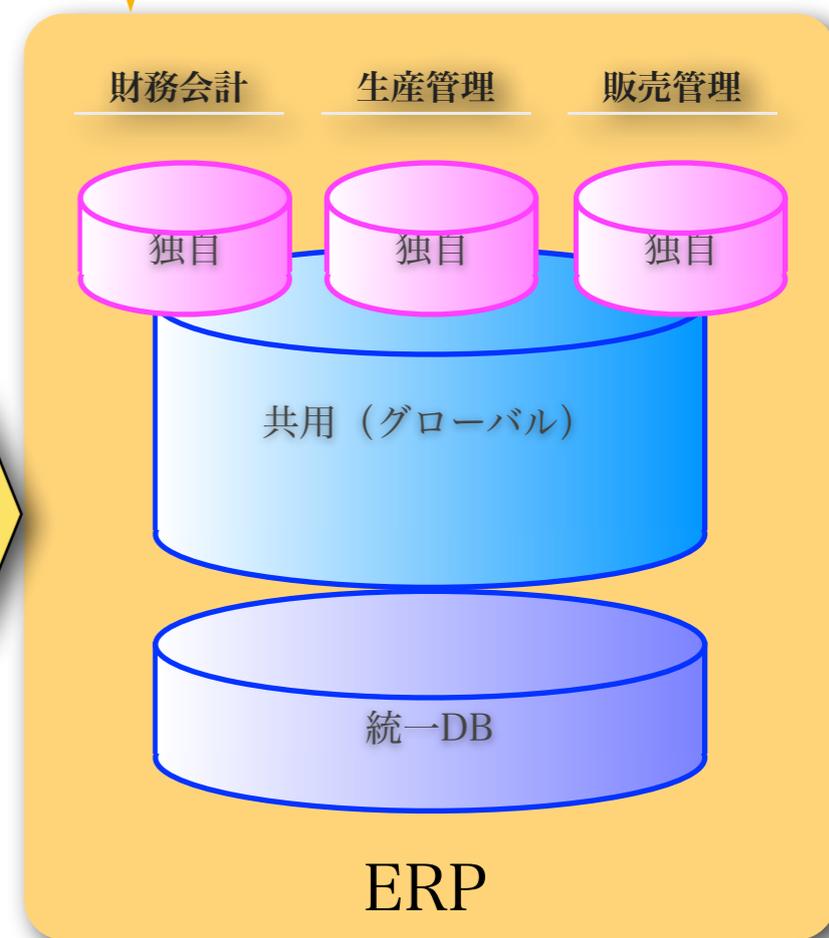
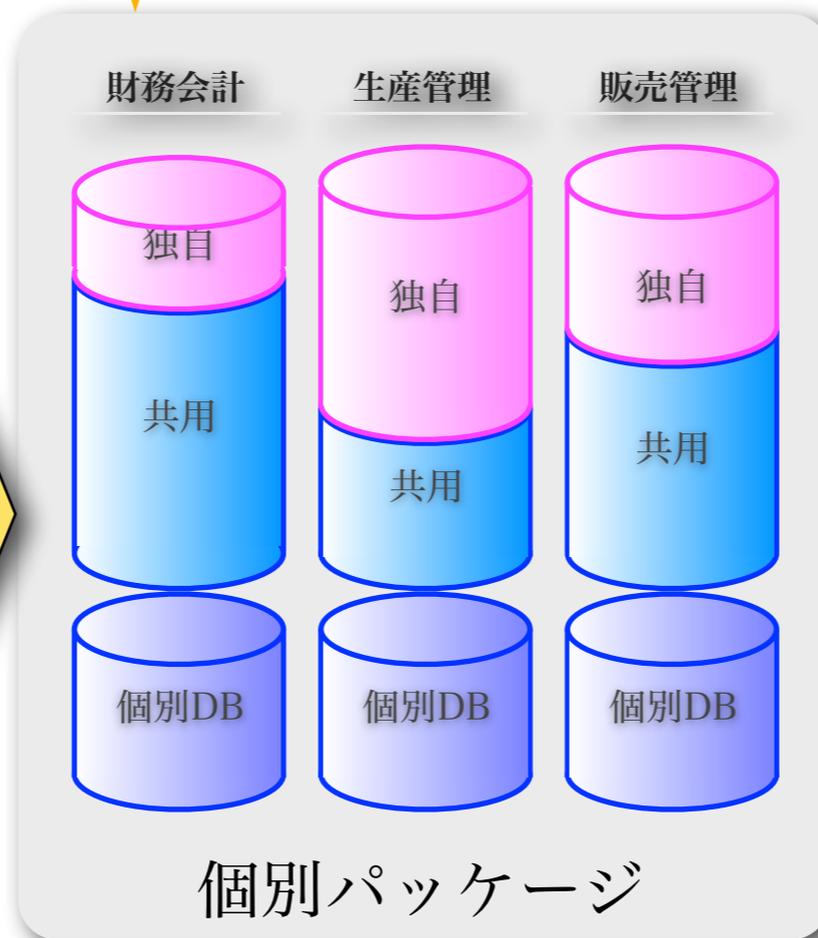
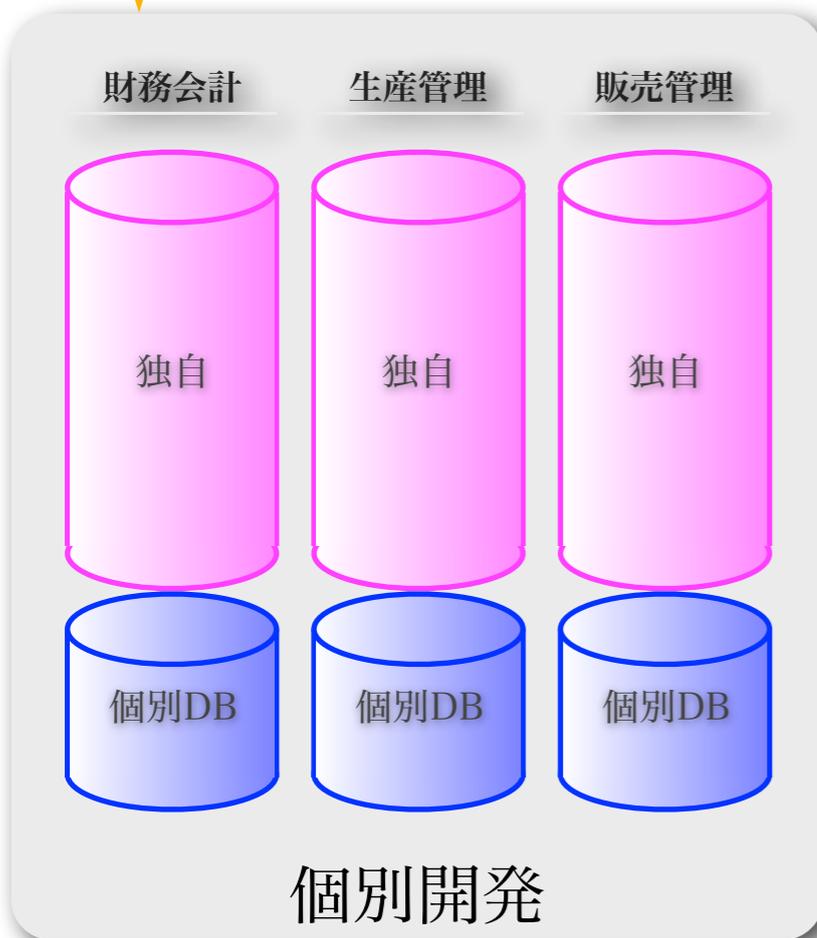
良いソフトウェア＝良いシステム、ソリューション

良いものを「ちゃんと」組み合わせ合わせて安く安全に

統合パッケージのメリットを最大限に享受

アプリケーション

データベース



# アプリケーション？

OSであるLinuxからはじまり、OSSの企業導入はMySQL PostgreSQLなどのDB・ミドルウェアへと「上層」へ向かって伸びるトレンドを見せていた。

⇒ミドルっぽいアプリが狙い目？

## ECM

エンタープライズ・コンテンツ・  
マネジメント

企業内の「コンテンツ（ファイル）」を、統合的に管理できる  
基盤

本当は

コンテンツが主役

同梱！

標準文書管理アプリ  
標準コラボレーションアプリ

## EIP

エンタープライズ・  
インフォメーション・ポータル  
企業内の「アプリケーション（へのアクセス経路）」を、統合的に管理できる基盤

本当は

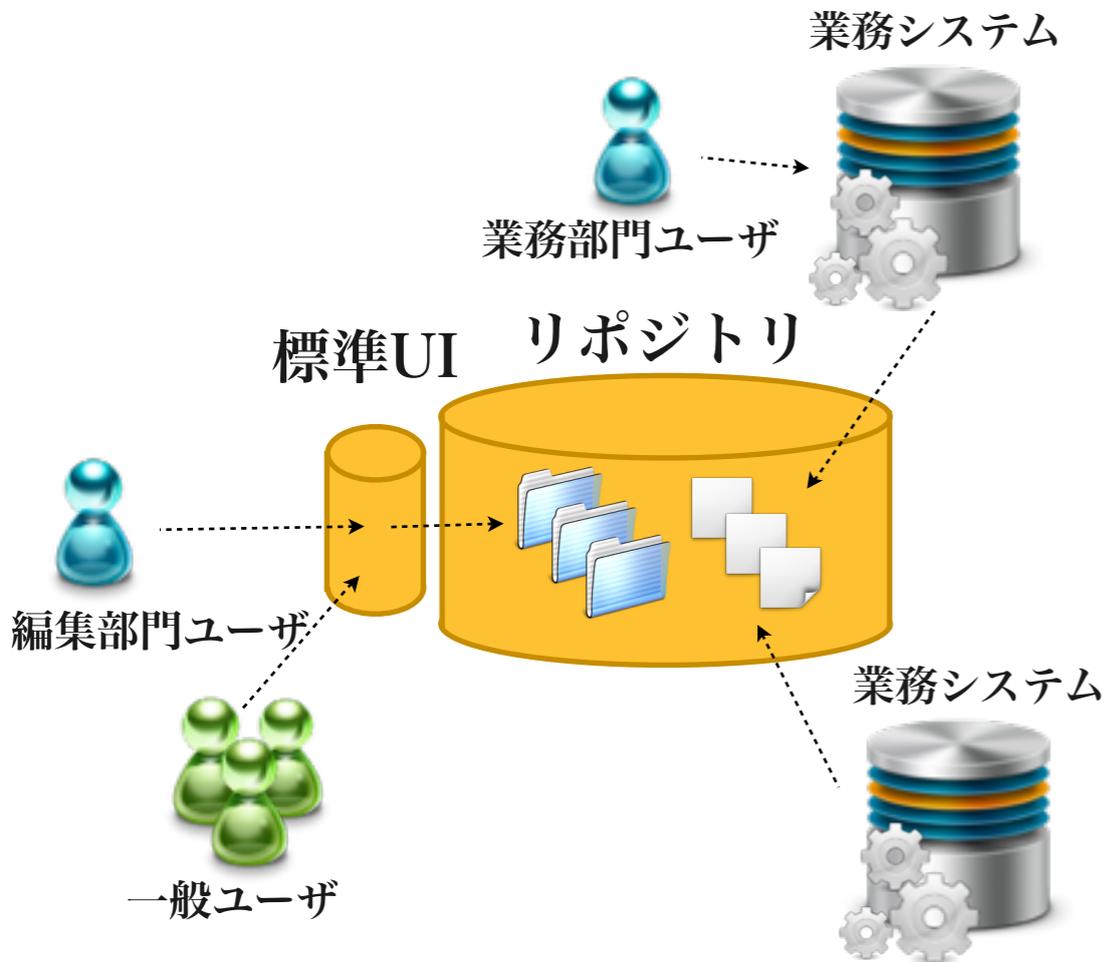
業務/プロセスが主役

同梱！

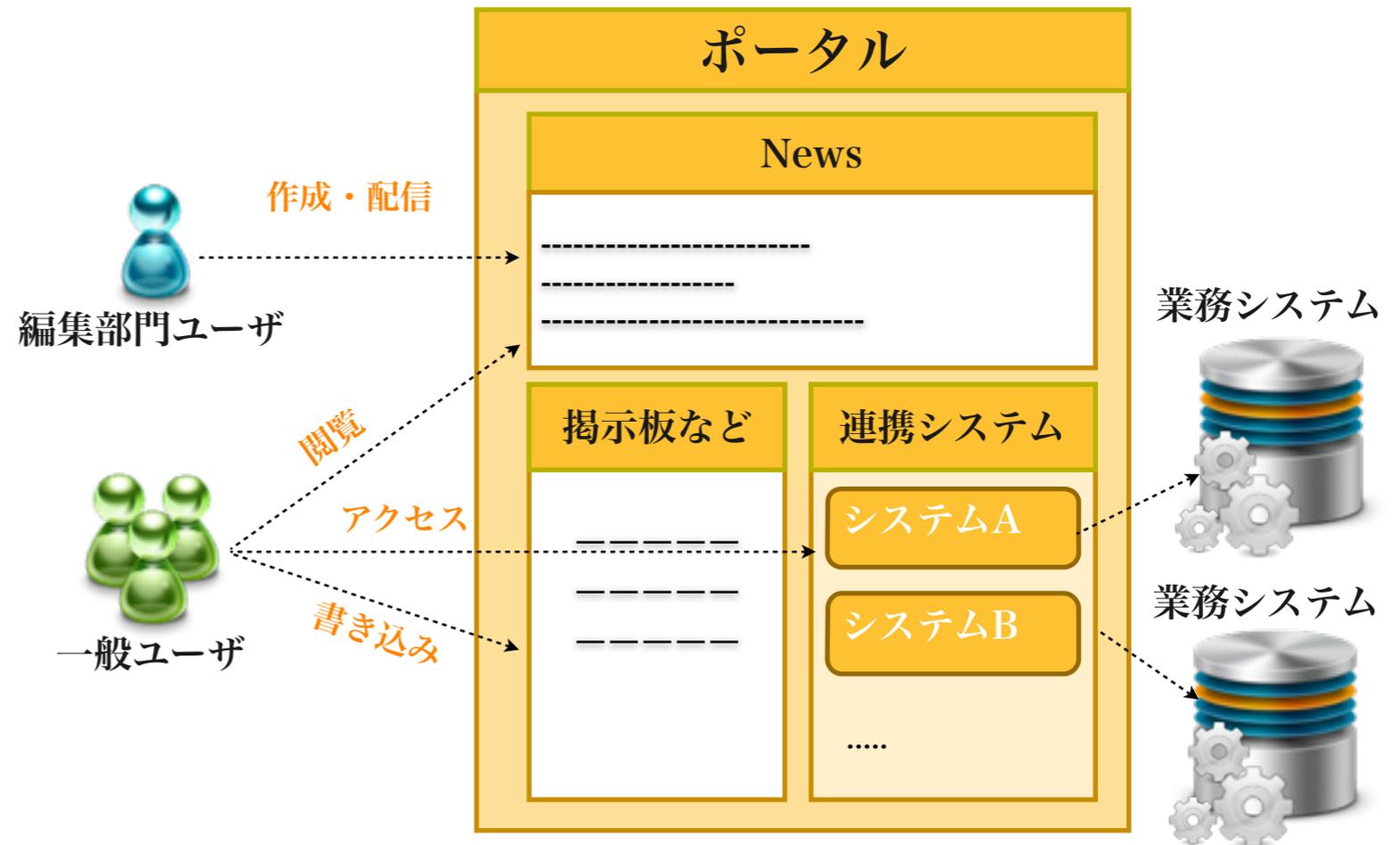
各種標準ポートレット  
CMS・掲示板

# 補足) ECMとEIP (ポータル) の比較

## ECM (Alfrescoなど)



## ポータル (Liferayなど)



## 補足) コンサルティングって？

戦略立案、IT投資マネジメント、RFP作成、要件定義支援、、、  
だけでなく、パッケージソフトウェア導入プロジェクトならではの  
役割（ロール）も

⇒パッケージの**経済性**を活かすためのお手伝い

製品サポートの範囲は？

APIの適切な呼び出し方法は？

そのモジュールのコードはちゃんとメンテされてる？

そもそも標準機能の枠内で工夫できない？

本体に取り込んでもらえれば保守コストが下がる？

他のユーザはどうやってるの？

等々

# オープンソースビジネスの歴史

Linuxを起点に、OS→ミドルウェア→アプリケーションと下層から上層へOSSの活用範囲は拡大してきた

▼ 弊社aegifも起業

ミドルウェア

アプリケーション



# 営業先でお客様から必ず言われること 2012



「オープンソースなのに、安くないんですね」

「イニシャルで大きく確保する方が予算は取りやすいんですよ」

「サポートってどこまでサポートしてくれるんですか？」

「個人的にはもっとこういうものを使うべきだと思ってるんですが」

# コスト以外の利点は響いていない

## 顧客の理解

## OSS関連企業の主張

コスト

趣味で作ってるから安い  
無料で配られてる物だから安い

宣伝費用が節約されている  
コミュニティのフィードバック  
が無償で得られている

品質

最近は安心して使えるものが増  
えてきたらしい (?)

外部に晒されてる前提のコード  
の方が品質が高いのは当たり前

機能

高価な商用製品の方が性能も機  
能も上

コミュニティやサードパーティ  
の力によるイノベーションの分  
OSSの方がむしろ有利

A young boy is seen from behind, walking away on a wooden suspension bridge. He is wearing a grey baseball cap, a yellow and blue long-sleeved shirt, and blue jeans. The bridge has thick, braided rope railings on both sides. The background shows a lush green forest. A white rectangular box is overlaid on the image, containing the Japanese text.

では何故この道を選んだのか？

それがぼくには楽しかったから、ではなく



理由その1 長期的に見て  
とても良い「賭け」だと思えるから

「グリーン投資」に近い発想で

パッケージソフトウェアは経済的な分業



似たもの同士の「激しい競争」が生じる



競争優位はどこから生まれるか？



天の時、地の利、人の和？ 予測可能？



優秀なエンジニアを抱えたチームは有利



優秀なエンジニアが集まる条件は？

# エンジニアの立場で考える

技術的な妥当性、合理性を重視

優秀な人と一緒に仕事がしたい

プロプライエタリによってロックインされるのは、  
顧客だけとは限らない

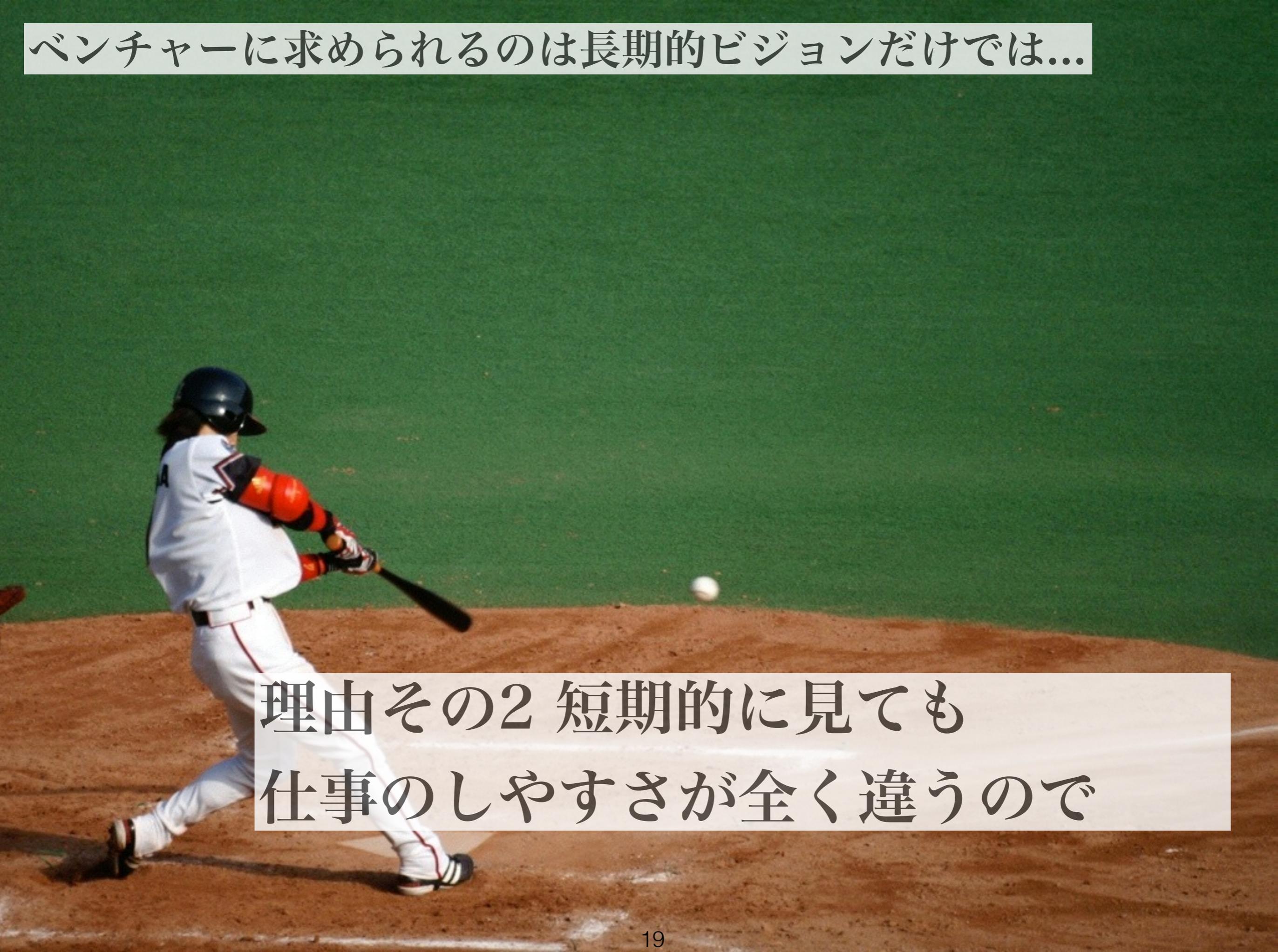
CIOブーム（？）が去った後で

ビジネス/経営者/マネージャ  
が広い視野で物事を見渡すのは当たり前  
不確実な状況では予測が重要

IT/技術者/担当者  
が具体的な課題についてより正確な情報  
を持っているのも当たり前  
「将来」などの不確実な世界は担当外？

ITトレンドの把握・予測の適任者は誰か  
個人か、組織か、文化の問題か

ベンチャーに求められるのは長期的ビジョンだけでは...

A photograph of a baseball player in a white uniform with orange accents, captured in the middle of a swing. The player is wearing a dark helmet and is positioned on a dirt base. A baseball is visible in the air to the right of the player. The background is a green outfield.

理由その2 短期的に見ても  
仕事のしやすさが全く違うので

# 前提となる市場環境

## The 1st Practiceは常にBest Practiceなのでは？

すでにあるソフトのリスクはまだ形がないもののそれより常に低い

国民性ジョーク「あなたの製品は今の100倍のデータ量に耐えられますか？」



ソフトウェアの輸入額は輸出額の約100倍（諸説あり）

懐かしの“タイ  
ムマシン経営” 高すぎる言語の壁、それなりに大きな国内市場

ハイエンド製品は全て海外製

# ガラパゴス

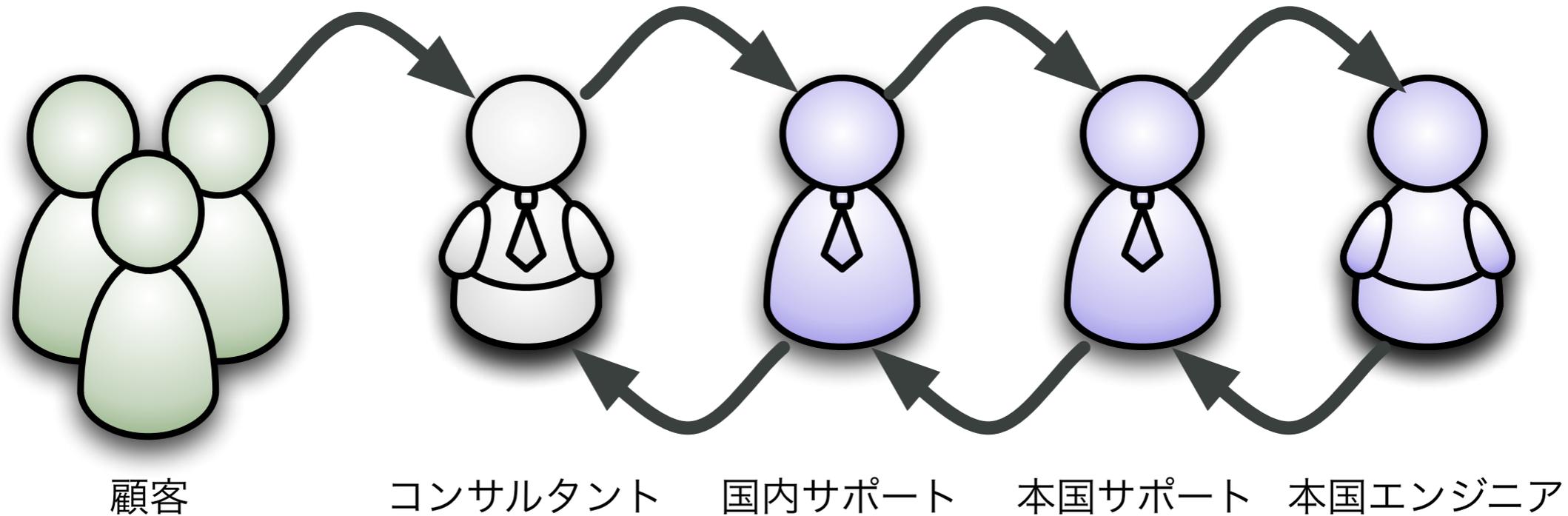
- カスタマイズの有無
  - ◆業務を製品にあわせるか、製品を業務にあわせるか？
  - ◆欧米企業ではカスタマイズなしが多い（トップダウン、経済合理性の追求）
- インターネット上のコミュニティで開発
  - ◆コミュニケーションは英語中心
- 利用は自由、保証やサービスに対価を払う文化
  - ◆日本はサービスコストの算定が苦手
  - ◆モノにお金は払うが……
- 米国ビックベンダ製品へ対案の提示
  - ◆欧州公共セクタを中心に活性化
  - ◆日本ではそういう拘りはない

日本は経済規模の割に  
OSSパッケージの実績が乏しい

# オープンソースモデルの現場視点での合理性とは

大規模企業向けパッケージがほぼ海外製であることを前提とすると、違いがより明確になる

- 理屈の上でも顧客側にメリットがある仕組みなので、良い顧客に出会えそう
- 製造元のエンジニア個人にとって有利な制度なので、良いパートナーに出会えそう
- どうせ海外と仕事しないといけないなら、英語以外の言語も使って手早く済ませたい



A dramatic sky with a low sun and silhouetted power lines. The sun is partially obscured by clouds, creating a bright glow. The power lines are silhouetted against the sky, and a utility pole is visible in the lower left. The overall mood is contemplative and industrial.

# 新しい挑戦 製品ベンダとして

# そして自社製品へ

海外製OSSのパートナーシップを長年経験してきて……

## ■内的要因

- ◆ベンダだけでなく他国の類似のパートナーの人達とのコミュニケーションが取れてきた
- ◆相場観がわかってきた
  - ベンダがどの程度サポートしてくれるものなのか
  - 対コミュニティ、対顧客、対パートナーなどレイヤ

## ■外的要因

- ◆Alfrescoの値上げ
- ◆直接パートナー以外の、孫パートナーや有力なコミュニティ開発者が、日本からベンダ側へのローカライズ強化のリクエストが難しい
- ◆物によっては製品レベルでこっちから出していった方がよいケースがあると考えられた

海外→国内 vs 国内→海外



ガラパゴスの中から海外へ向けて

# オープンソースとは (おさらい)

## ■ Open Source Initiative (OSI) による定義

1. 自由な再頒布ができること
2. ソースコードを入手できること
3. 派生物が存在でき、派生物に同じライセンスを適用できること
4. 差分情報の配布を認める場合には、同一性の保持を要求してもかまわない
5. 個人やグループを差別しないこと
6. 適用領域に基づいた差別をしないこと
7. 再配布において追加ライセンスを必要としないこと
8. 特定製品に依存しないこと
9. 同じ媒体で配布される他のソフトウェアを制限しないこと
10. 技術的な中立を保っていること

Wikipedia「オープンソース」より

ほかにもオープンにすべきものはないのか？

意志決定 (コミュニティ)

開発行動 (リポジトリ)

得意分野のECMで試してみる



***NemakiWare***



# (改めて) ECMとは？

## Enterprise 企業向け

大規模利用・業務システム連携・高可用性

## Content コンテンツ

非定型データ・ファイル・“一人歩き”

## Management 管理

アクセス権・オーナーシップ・ルール作り

柔軟で高性能な文書管理基盤

# CAPTURE

How do you move content, paper or electronic, into your content repository for reuse, distribution, and storage?

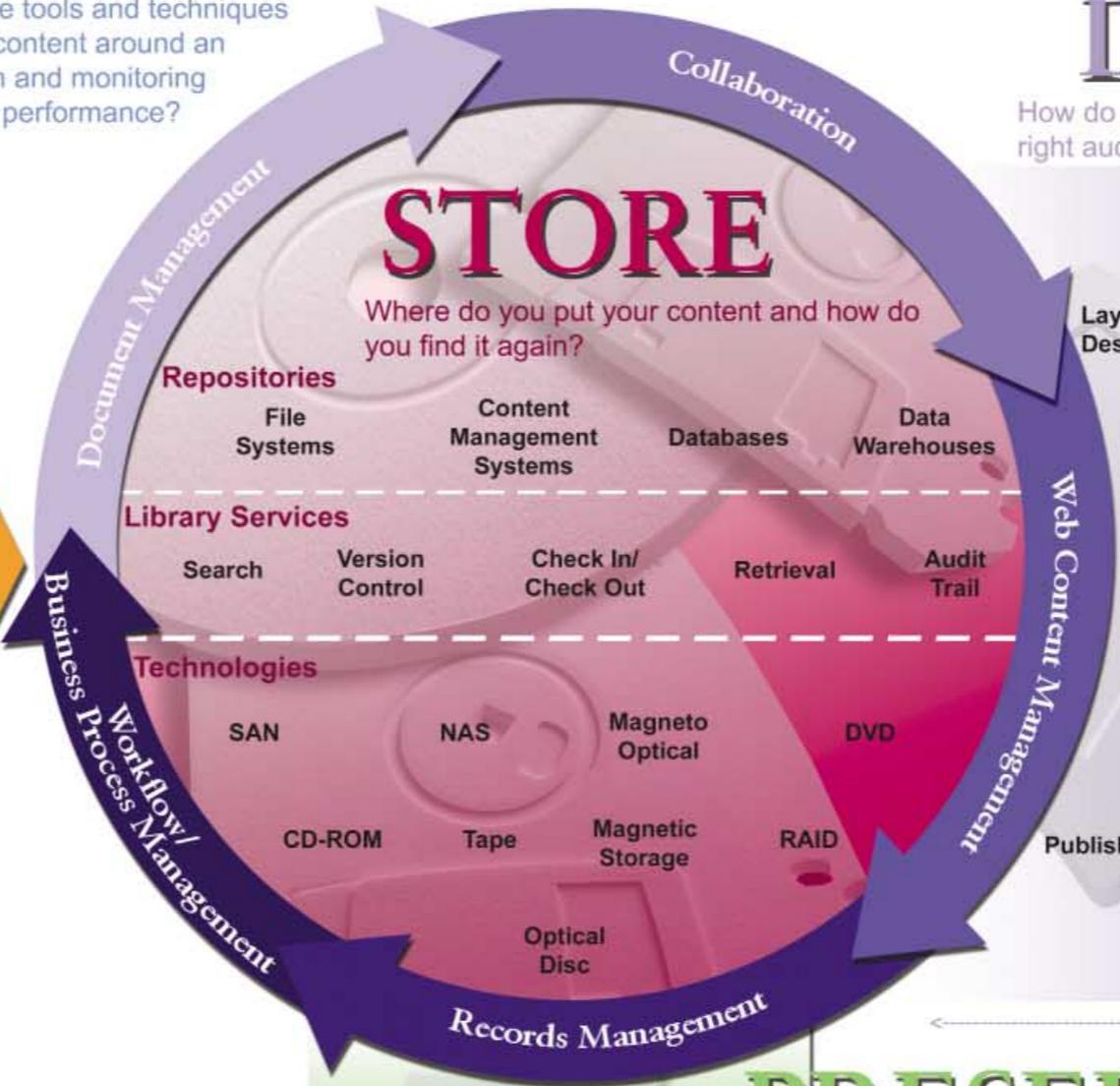
Creation/Authoring	Technologies	
Office Documents	OCR	HCR
Forms	ICR	OMR
Rich Media	IDR	
Microfilm	Document Imaging	
ERP	Forms Processing	
E-Billing	E-Forms/Web Forms	
Financial Applications	Aggregation	
XML	COLD/ERM	

Human Created

Application Created

# MANAGE

What are the tools and techniques for moving content around an organization and monitoring those tools' performance?



# DELIVER

How do you get the right content to the right audience on the right device?

Transformation Technologies	Security Technologies	Distribution
COLD/ERM	PKI	Paper
Personalization		Internet
XML	Digital Rights Management/Watermark	Extranet
PDF		Intranet
Compression	Digital Signatures	Portal
Syndication		Email
		Fax
		Mobile Devices
		E-Statements

# PRESERVE

What are your options for long-term archival and storage of your company's essential content?

ARCHIVE TYPES

Paper	Film	Optical
NAS/SAN		CAS

INPUT

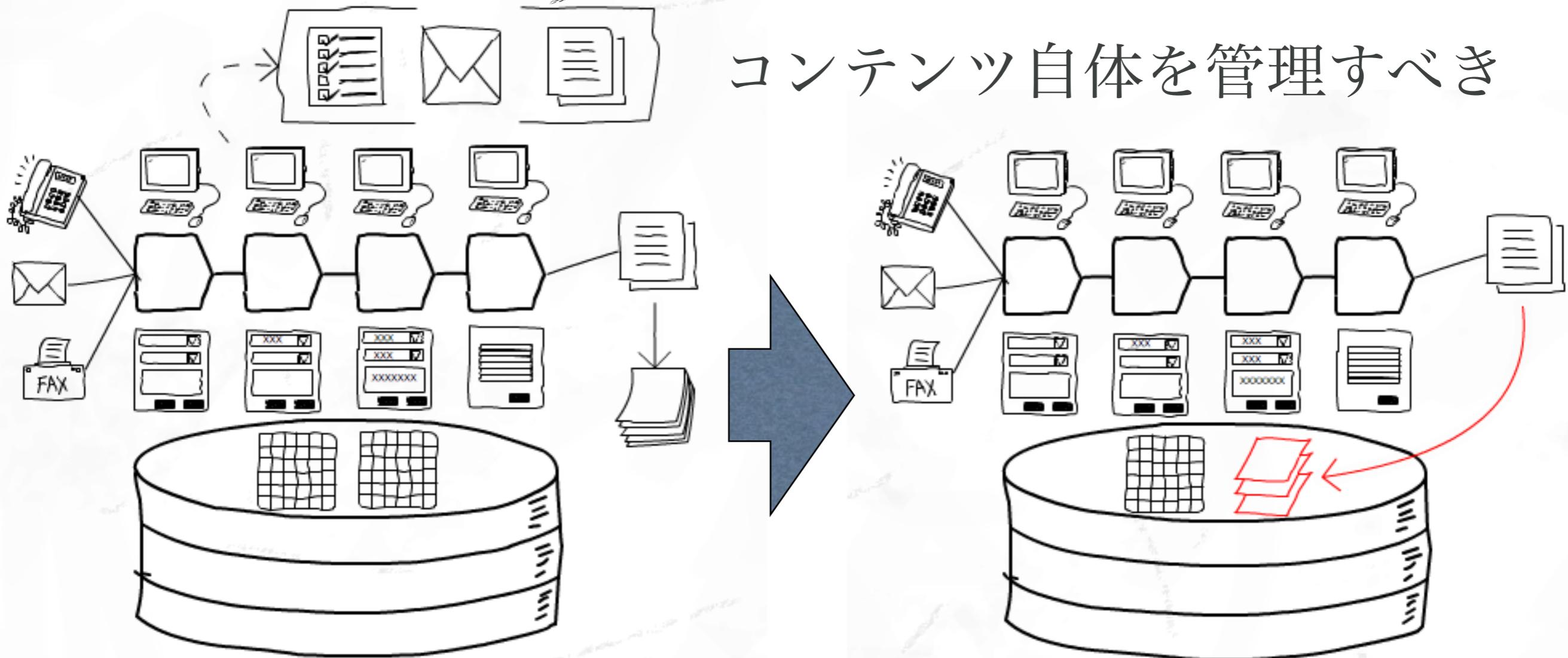
OUTPUT

# 一人歩き？

DBから動的に生成される情報が  
レビューや確認、再利用のために  
コンテンツ化される。

システム改修時に問題化しがち

コンテンツ自体を管理すべき





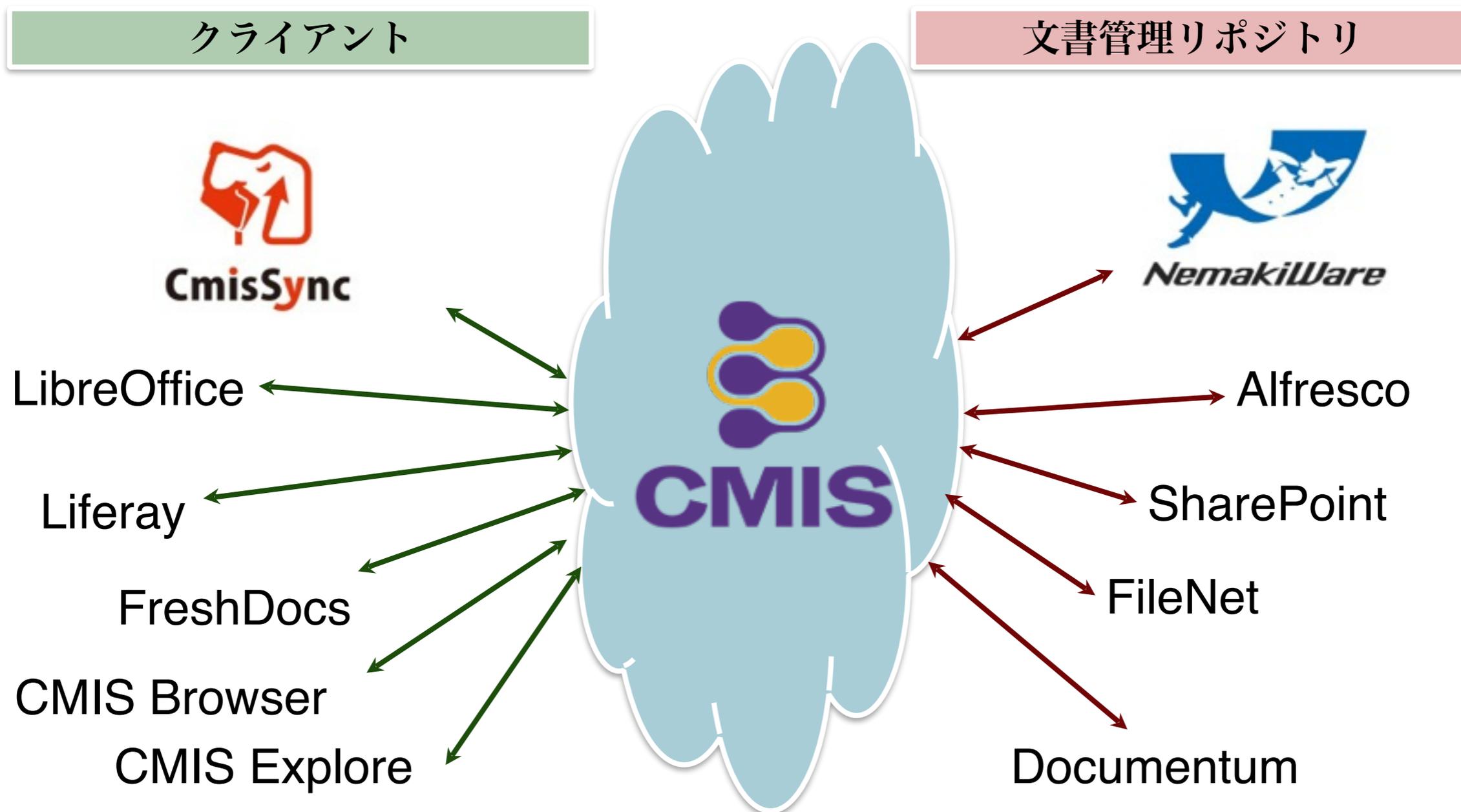
# Content Management Interoperability Services

コンテンツ管理のための  
相互運用サービス

ECMのための製品非依存な  
共通API

# 自社製品紹介

得意分野（ECM）業界にオープンスタンダード  
がやってくるというチャンスを活かすために



# CmisSyncの沿革 日本発企業向けオープンソースプロジェクト

2011年12月 Alfresco提案中に顧客からDropboxライクな機能の要望を受ける

2012年03月 社内会議で開発者より新製品の企画として提案

2012年08月 git用同期ツールSparkleShareをforkしてプロジェクトスタートTwitterアカウント

CmisSyncを取得し告知、フォロワー数50

GoogleグループCmisSyncを作成し問題報告や議論のために利用開始

最初期のα版を公開、ダウンロード数3

2012年09月 Alfresco社メンバよりWebDAVベースの同期ツールの告知とローカライズの申出

YouTubeにチュートリアルを公開、閲覧数250

2013年02月 クラウドソーシングプラットフォームCrowdinでローカライズプロジェクト開始

開始1週間で4言語、最終的には11名の協力者を得て9言語に対応

初の外部からの貢献。フランス企業がAlfrescoで外部と情報共有するため

フランスのSlashdotともいべきサイトLinux.frでニュースに

2013年07月 ドイツOpenDataSpace社がLinuxへ移植。同社からは3名の開発者が協力

平均して1時間に1件のダウンロード！

現在では1時間に4件から5件くらいのダウンロード

## 主要な開発者

名前	国	コミット数
Nicolas Raoul	日本	468
Yannik Molinet	フランス	125
Fritz Elfert	ドイツ	68
More Zeng Feng	中国	37
Achim Derig	ドイツ	9

他多数

# 自社開発製品のいま

- 先行しているのはCmisSync

- コミュニティ

- ◎リポジトリ

- NemakiWareは今後期待

- △コミュニティ

- ◎リポジトリ



# ギャップについて

- UI=ラスト1マイルのカスタマイズ
- 割り切りと信頼、機能の無効化
- サポートの「範囲」
- 日本的ワークフロー
- 記録管理と本音（本質）主義

# UI、ラスト1マイルのカスタマイズ

エコシステム構築を指向するレベルのパッケージベンダであれば、SDKやAPIの水準にも期待が持てる

標準UIがあって「**ほとんど**これでOK」という感想がでてきた時が危ない

APIの利用方法だけ専門家を利用し、基本のUIは顧客側に近い組織で作ることが多くの場合ベスト

# 割り切りと信頼、機能の無効化

…ただし、MSは除く

ホーム マイファイル 共有ファイル サイト ▼ タスク ▼ 連絡先 リポジトリ Akinori Ishii ▼ 🔍 検索...

 Akinori Ishiiダッシュボード ⚙️

### あなたのサイト

すべて ▼  サイトを作成

-  **Alfresco**  
Alfrescoのプロダクトサイト  
★ お気に入り
-  **CmisSync**  
CmisSyncに関するドキュメントを保管します。社内開発プロジェクト全体に係わるドキュメントは「社内開発プロダクト」サイトに格納されます（ここで目的のものが見つからなければそちらを参照

### あなたのドキュメント

あなたが修正したもの ▼  

 自分のコンテンツの最新情報を確認する  
このダッシュレットは、重要なコンテンツのリストを表示します。コンテンツが属しているサイトに関わらず、すべての重要なコンテンツを表示します。フィルタを使用すると、探しているコンテ

### Webビュー

表示するWebページがありません。

### あなたのタスク

アクティブなタスク ▼  ワークフローの開始

アクティブなタスク | 完了済みタスク

 割り当てられたタスクを確認する

# サポートの「範囲」

いわゆる『サブスクリプション』モデルの場合  
以下の問い合わせはすべて**範囲外**！

- カスタマイズ方法の指導
- カスタマイズされたモジュールの障害
- パフォーマンスチューニング
- サイジング
- 一般的な使い方の質問
- コミュニティエディションで生じた問題

実務的には、『受入の範囲』と『対応の範囲』の問題も

# 日本的ワークフロー

## 三大要件

- 引き戻し (not 差し戻し)
- 「上長」
- 代理承認

他にも、「経緯コメントの永続的保管」「一括承認」「根回し」など

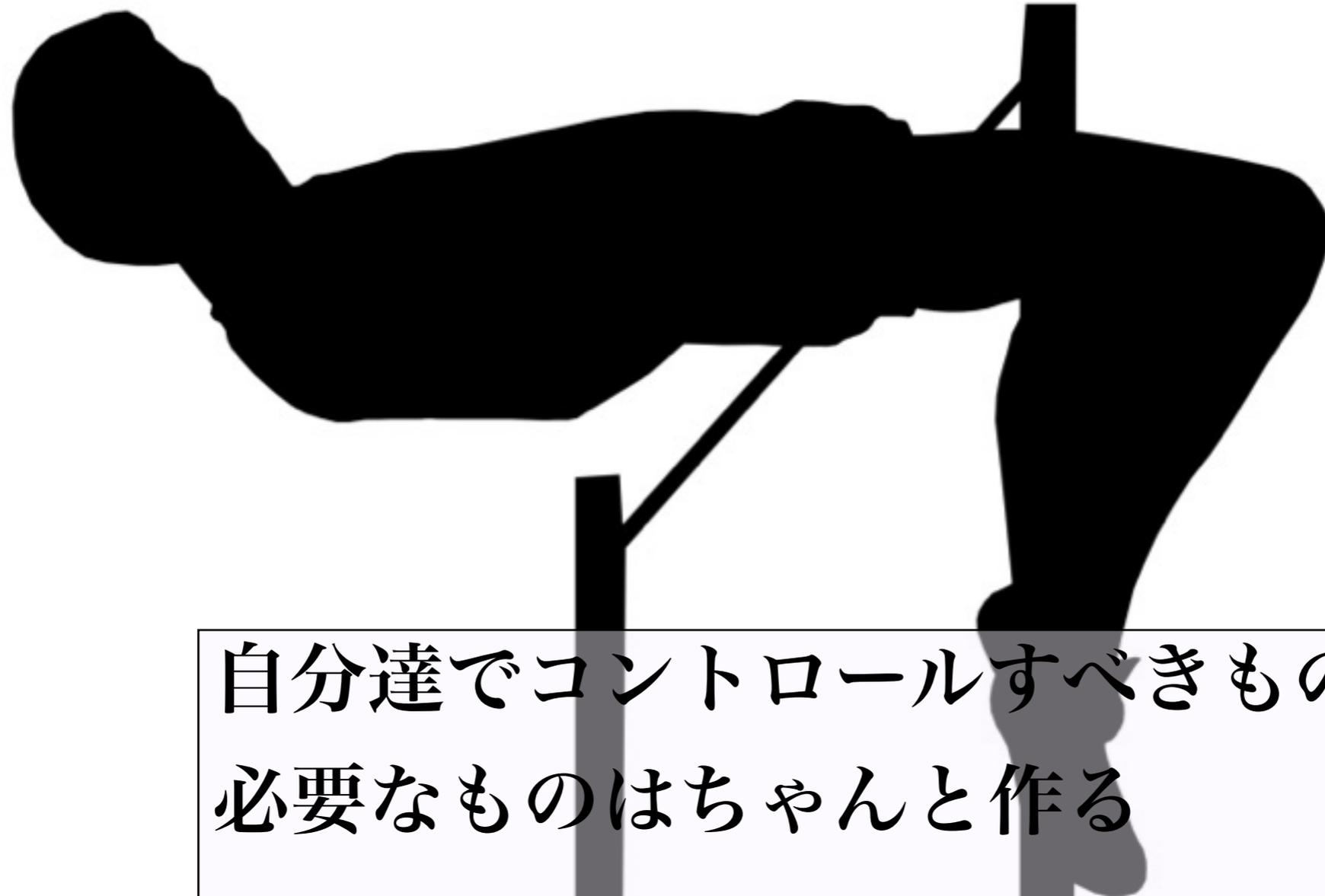
# 記録管理と本音（本質）主義

「ちゃんと仕事した」と見なす基準の問題

例えば、

『完璧な書類』が未提出で机に置いてあった場合

# ギャップへの対応



自分達でコントロールすべきものを見極めて  
必要なものはちゃんと作る

もっと良いやり方については常に調査

**aegif**